サイエンティフィック・システム研究会
Scientific Systems

教育環境分科会 2011 年度第 1 回会合

国際化を支える教育環境

ー国際化・多様化の進む大学のコンプライアンスの現状とその課題ー

■ **日時 ： 2011 年 9 月 8 日(木) 分科会 13:15-17:50 (受付 12:45-) / 懇親会 18:00-19:30**

■ **場所 ： 富士通(株)本社 24 階 大会議室 [東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター]**

■ **プログラム**(敬称略)　　※予告なく変更する場合がございます。予めご了承下さい。

12:45 -	受付
13:15 - 13:20	[開会あいさつ]　中西 通雄 (大阪工業大学)
13:20 - 14:20 講演 50 分/Q&A 10 分	[講演 1] **「大阪大学における留学生支援の現状 ー留学生に魅力的な大学とは？ー」** **大阪大学 国際教育交流センター　近藤 佐知彦** Global Campus Net, Osaka(以下 GCN)とは 2003 年度から大阪大学で運用されている「留学生のための情報ポータルサイト」です。留学生や外国人研究者を対象としてネット上のワンストップサービスを目指したものです。ユニコード利用の多言語 BBS を一つの核として、日本語教育、奨学金情報、ビザ情報、リサイクル情報、保健医療情報、子育て情報などに加え、外国人可の住宅情報まで、大学関係者だけでなく自治体や NPO、企業の協力も得て外国人フレンドリーなキャンパス環境を創造してきました。もともとは工学研究科で始められたプロジェクトですが、様々な変遷を経て 2010 年度からは国際教育交流センター内に開設された「サポートオフィス」でマネジメントすることになりました。対面ワンストップサービスであるサポートオフィス業務を補完するものとして位置づけられています。大学国際化拠点整備事業 (いわゆる Global 30) 採択に伴って、2010 年 4 月には全面的なサイトリニューアルを行いました。そして ID 取得者を対象に希望条件を不動産業者と「交渉」することが可能になる「住宅リクエスト」、タクシーによる関西空港からの「送迎サービス予約」システム、そして日本人学生を対象とした「チューター希望者登録」システム等の新機能・サービスを付け加えています。本学の正規ホームページは日英両語に完全対応となり国際化が進んでいます。しかし外国人にとって重要な生活情報やサービスが「.ac.jp」のサイトだけで提供できるわけでもありません。NPO や企業の支援も受けた垂直的な情報やサービス提供に加え、外国人同士の水平的な情報流通環境 (BBS) も GCN で整備をしつつ、大阪大学ではキャンパスの国際化を推進しようとしています。
14:20 - 15:20 講演 50 分/Q&A 10 分	[講演 2] **「倫倫姫プロジェクト：多言語情報倫理 e ラーニングコンテンツの開発と運用」** **群馬大学 総合情報メディアセンター　上田 浩** 群馬大学における、多言語情報倫理 e ラーニングコンテンツの開発と運用について報告する。本コンテンツによる情報倫理教育は学生教職員問わず全学的に実施されており、教育内容の標準化、質の保証ならびに自学自習の環境を実現した。加えて、英語, 中国語に対応することにより、増加を続ける留学生に対応することができた。 本講演では本プロジェクト開始のきっかけから多言語化に至るまでの経緯、運用を通じて得た留学生を含めた受講生の声を紹介し、留学生への情報倫理教育に e ラーニングが有用であることを示す。
15:20 - 15:40	休憩
15:40 - 16:40 講演 50 分/Q&A 10 分	[講演 3] **「インシデント発生を抑えるための取り組み」** **熊本大学 総合情報基盤センター　杉谷 賢一** インターネットの脅威から組織内のネットワークを守るために、ファイアウォール(FW)や侵入防止システム(IPS)などの導入が多くなっているが、色々なインシデントの発生は無くなることは無い。それは、攻撃者の手口が巧妙になってきていることに拠るものもあるが、組織内のユーザの情報リテラシーの低さに拠るものの方が圧倒的に多いと考えられる。 本講演では、インシデント発生の低減を目指して熊本大学で行っている情報リテラシー教育やインシデント検知システム等について報告する。
16:40 - 16:45	休憩 (討論準備)
16:45 - 17:45 討論 60 分	[討論] **「国際化・多様化の進む大学におけるコンプライアンスの現状とその課題」** **コーディネータ：熊本大学 宇佐川 毅** **パネリスト：　大阪大学 近藤 佐知彦** **群馬大学 上田 浩** **熊本大学 杉谷 賢一** ※ 討論は、フロアを交えた活発な討論の場とするため、事前資料なし・無記録で実施いたします。
17:45 - 17:50	[閉会あいさつ]　中西 通雄 (大阪工業大学)
17:50 - 18:00	休憩・懇親会準備　(ﾆｭｰｽﾚﾀｰ編集会議:講演者/企画委員)
18:00 - 19:30	**懇親会** (会費 ¥500) お飲み物と乾き物のみご用意した、簡易的な情報交換会です。

サイエンティフィック・システム研究会
Scientific Systems

■ 開催趣旨

大学教育の国際化と言われて久しいところですが、国際的に活躍できる人材の養成は我が国にとって重要なテーマであることに変わりはありません。文部科学省の国際化拠点整備事業をはじめとして、各大学では様々な国際化施策を講じておられ、教育環境を整備されています。

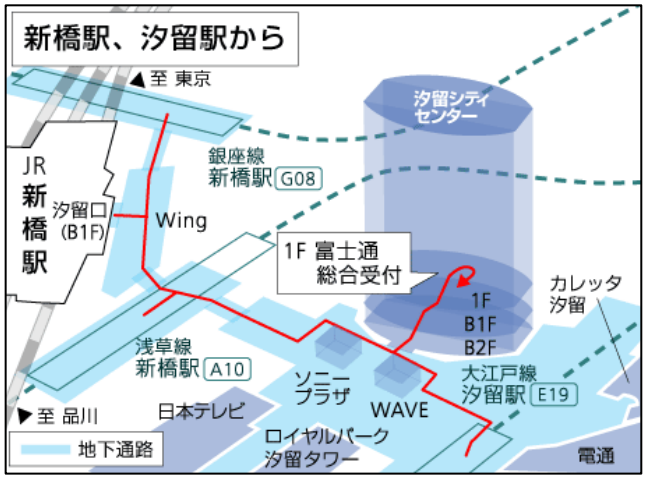
教育環境分科会では、第１回目会合のテーマを「国際化に向けた教育環境」に設定して、企画を進めて参りました。本日は、大学に留学生を受け入れて支援していくための方策と IT との関わり、受け入れた留学生を含む学生全体に対する情報倫理教育の工夫、さらには不正行為をさせないためのシステム管理側について、各大学の現状を紹介していただくことにいたしました。パネルディスカッションも含めて、参加者の皆様と議論を深めて参りたいと思います。

■ 会場へのアクセス

汐留シティセンターの１階ロビーの会合受付経由で、24 階の大会議室へお越し下さい。

《電車でのアクセス》

- **JR 新橋駅**
  汐留口（地下１階）から徒歩３分
- **東京メトロ 銀座線 新橋駅**
  出口４（地下１階）から徒歩３分
- **都営地下鉄 浅草線 新橋駅**
  汐留方面出口（地下１階）から徒歩２分
- **都営地下鉄 大江戸線 汐留駅**
  JR・ゆりかもめ新橋駅方面出口（地下２階）から徒歩１分
- **新交通ゆりかもめ 新橋駅**
  出口 1D から徒歩１分



《羽田空港から新橋駅までのアクセス》

- **東京モノレールと JR 山手線**
  羽田空港 から 浜松町 経由 新橋駅（所要時間約 30 分）
- **京浜急行と都営浅草線（直通電車）**
  羽田空港 から 都営浅草線新橋駅（所要時間約 30 分）

■ ご参加について

参加対象 ： SS 研会員、CS 研、IS 研会員様でなくても、大学、研究所の教職員ならば、どなたでもご参加できます。
参 加 費 ： 分科会：無料 / 懇親会：¥500
服　　装 ： クールビズをお勧めします。（室温 28℃）
ご 注 意 ： 当日、会場にお越しいただく際のエレベータは、昼食時 13:00 くらいまでの時間帯は、大変な混雑が予想されます。ご注意ください。
なお、当日お越しの際はお名刺をお持ちください。

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。

http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/activity/sectionmeeting/edu/2011-1/program.html

Scientific Systems

【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会（SS 研）事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) SS 研究会推進部内
TEL：03-6252-2582(直通)　FAX：03-6252-2798
Email:office@ssken.gr.jp　URL http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/